

保原第二受水池小水力発電所の完成に伴う竣工式及び開所式を執り行いました

福島地方水道用水供給企業団は、保原第二受水池流量計室を活用した小水力発電事業について、事業者において工事を進めておりましたが工事が完成したことから、令和4年7月4日に保原第二受水池小水力発電所の竣工式及び開所式を執り行いました。

1 竣工式及び開所式の概要について

- 開催日時 令和4年7月4日(月) 14時～14時50分
- 開催場所 伊達市保原町所沢字新井山32-7
保原第二受水池
- 出席者 須田博行副企業長、福島発電㈱代表取締役 吉田孝 他5名
- 開催内容 ①竣工式(神事) ②開所式

2 事業の概要について

- 事業名称 福島地方水道用水供給企業団小水力発電事業(保原第二受水池流量計室)
- 代表事業者 福島発電株式会社 代表取締役 吉田 孝
- 事業実施場所 保原第二受水池流量計室(伊達市保原町所沢字新井山 32-7)
- 利用可能水量 5,268 m³/日 有効落差 56.6m
- 最大発電電力 22.2kW
- 年間発電電力量 約136MWh(一般家庭31戸相当)
- 契約締結日 令和3年11月18日
- 企業団の関与 必要な水のエネルギーの提供
- 施設利用料 全体額¥330,000-/年
(内訳:企業団収入¥280,000-/年 伊達市収入¥50,000-/年)



運転開始ボタンを押す須田副企業長(左)と吉田社長